

みんな どんな子ども だった??

あおもり
～青森ではたらく人の
ひと
子ども時代をのぞいてみよう!～
こ
じだい



あおもりけん
青森県 こども家庭部 若者定着還流促進課

か て い ぶ わかものでいちゃくかんりゅうそくしんか

黒石商業高校の
情報デザイン科を卒業後、
Orbrayに入社しました



現在は医療機器を
担当しています

人の命に関わるものなので、
決まりを守ること・忠実に
やるのが大切な仕事です！

阿保さんは一人で200以上の部品を組み立てているとのこと！
その作業ができるのは二人しかいないぞ！

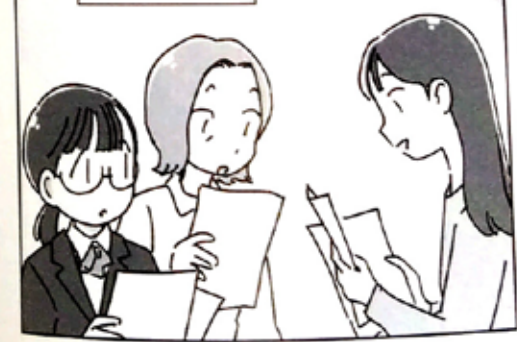
進学先を選ぶときは、「好きなこと
をやれるところに行けばいい」
という家族の理解もあり

情報デザイン科の緻密な
絵を見て、ここがいいなと



就職の時は、
製造業に行きたいなって
漠然と思っていて…

高校の三者面談で、
求人票を担任・
母・私の三人で見た時に



ここは休みもちゃんと
土日祝日あるし、

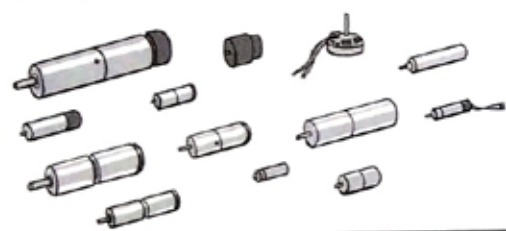
年末年始もお盆の連休も
長いし、ボーナスも出る！

正社員で男女問わず
採用してくれる！

じゃあ近いし
ここに！

…ということだ

世界最小の
モーターを
作っている
っていうのにも
惹かれて
応募しました



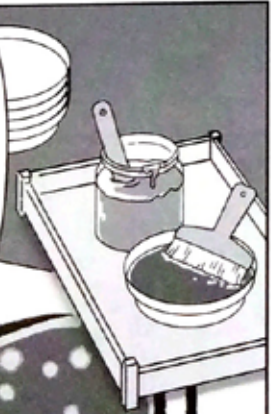
もともと自分は
手先が器用な方だと
思っていたので、

細かい作業が
すごく楽しいです



子どもの頃から絵を
描くのは好きでしたね

父親が、弘前のねふた絵師を
やっているっていう
ちょっと特殊な環境でした





生まれた時から
絵を描くための
環境が揃っていて
工作も
好きでしたね



父からねぶたの
見送り絵を預けられて
好きに塗っていいよと



そういえば、小学校の
参観日に絵が飾られた
のですが
私の絵には、金銀銅
とかついてなくて
数日後、母になぜか
これからは学校だけで
絵を仕上げるように！
と言われ……

学校で描くようになったら、
毎年金賞を取る……ということ
がありました



これは、母によると……
「お父さんが絵を描いて
る人だから、手伝って
もらったんじゃないか？」
……って、疑われていた
のが理由らしいです



自分の仕事のメモには
絵を描いています
使う部品・こういう手順
だったなって後から見
分かるように



他の人には
絵をあまり
見せないんです
最近では敬老の日に
祖父母の似顔絵を
描いてみたかな



中学校では、
テニス部に入っ
たんですけど
他の子が、団体とか
個人戦で賞を取っ
ている時に
同じテニス部なのに、
なぜか私は毎回絵で
賞を取っていて



私はテニス部
ではない……！

私の性格上、「これはこう作らないといけない」と決まりがある方が、作りやすいんですね

入社後は色々な部署を回りましたが



入社のきっかけになった、世界最小のモーターを作っている部署では「こんなに小さいものを作れるんだ!」ってすごくワクワクしました

自分の息で部品が飛ばないように、気をつけないと……!

……とか、細かい作業が好きなので、

小さければ小さいほど楽しくて

顕微鏡をのぞきながらピンセット使ったり、まち針使ったりずっと集中できてしまうんです

部品が小さすぎるので組み立ては機械化できない器用な方に手組みしてもらわないといけないのだ!

職人!!

最終的に自分の得意なこと、好きなことがあれば

長くその職場にいられるのになって思っています

ちょっと辛いことがあったとしても、

自分はこの仕事が好き!

っていう気持ちがあれば、踏ん張れる

自分の手先の器用さ、集中力、そして日々の業務がやりがいになっています

県外に行こうとは思わなかったですね

実家から通える、何か仕事で不安を感じても

自宅に帰れば母に話せる環境で相談できるので、いいのかなと

心の安定が仕事の集中につながります

現状を維持しつつ、製造現場で仕事を続けていけたらと思います

何より作っているのが楽しいので!